**●地球温暖化対策に関する調査**

|  |
| --- |
| Q5-1　脱炭素化・地球温暖化対策に自社で取り組む必要性について |
| 大いに必要である：23社（17.6%）ある程度必要である：89社（67.9%）あまり必要でない：15社（11.5%）全く必要でない：1社（0.8%）無回答：3社（2.3%） |
| Q5-2　必要の理由（複数回答可）　※Q5-1で「大いに必要である」または「ある程度必要である」と回答した企業（112社） |
| 企業の社会的責任：68社（60.7%）SDGsへの対応：39社（34.8%）ESGへの対応：27社（24.1%）電気料金などコストの削減：60社（53.6%）将来の規制への対応などビジネスリスクの軽減：22社（19.6%）ビジネスチャンス拡大が見込める：27社（24.1%）ブランド力・認知度の向上：9社（8.0%）国や秩父市の宣言（2050年カーボンニュートラル）への対応：30社（26.8%）取引先の要請：8社（7.1%）その他：0社（0％） |
| Q5-3　必要でない理由（複数回答可）　※Q5-1で「あまり必要でない」または「全く必要でない」と回答した企業（16社） |
| 自社の取組が地球環境に与える影響は小さいと考える：6社（37.5%）自社へのメリット（売上の増加など）が無い・わからない：5社（31.3%）取り組むための費用負担が大きい：2社（12.5%）2050年カーボンニュートラル実現は不可能だと考えている：1社（6.3%）売上の確保などが優先され取り組む余裕がない：7社（43.8%）環境問題が悪化しても自社への悪影響は特にない：0社（0%）その他：0社（0%） |
| Q5-4　省エネ設備の導入状況について |
| 導入している：69社（52.7%）これから導入予定：7社（5.3%）導入を検討中：26社（29.8%）導入予定はない：24社（18.3%）無回答：5社（3.8%） |
| Q5-5　導入設備の種類（複数回答可）※Q5-4で「導入している」「これから導入予定」または「導入を検討中」と回答した企業（102社） |
| 高効率空調：9社（8.8%）LED照明：85社（83.3%）断熱対策（ペアガラス、二重窓、樹脂サッシなど）：9社（8.8%）地中熱ヒートポンプ：1社（1％）その他：0社（0%） |
| Q5-6　導入した空調の種類（複数回答可）　※Q5-5で「高効率空調」と回答した企業（9社） |
| 電気式：8社（88.9%）ガス式：0社（0%）その他：1社（11.1%） |
| Q5-7　エネルギー使用量の管理状況について |
| 把握している：20社（15.3%）一部を把握している：67社（51.1%）把握していない：35社（26.7%）無回答：9社（6.9%） |
| Q5-9　温室効果ガス削減目標について |
| 目標がある：10社（7.6%）目標はない：115社（87.8%）無回答：6社（4.6%） |
| Q5-10　省エネ発電設備・蓄電池の導入状況について |
| 導入している：10社（7.6%）これから導入予定：4社（3.1％）導入を検討中：21社（16.0%）導入予定はない：89社（67.9%）無回答：7社（5.3%） |
| Q5-11　導入した設備の種類（複数回答可）　※Q5-10で「導入している」と回答した企業（10社） |
| 太陽光発電設備：10社（100％）蓄電池：0社（0%）その他の発電設備：0社（0％） |
| Q5-13　社用車のうち、次世代自動車の導入状況について |
| 電気自動車（EV）：6社（4.6%）燃料電池車（FCV）：0社（0%）ハイブリッド車（HV）またはプラグインハイブリッド車（PHV）：36社（27.5%）天然ガス自動車（CNG）：0社（0%）上記のいずれも導入していない：82社（62.6%） |
| Q5-14　再エネ由来電力の使用状況について |
| 使用している：9社（6.9%）これから使用する又は検討中：5社（3.8%）使用する予定はない：82社（62.6%）無回答：35社（26.7%） |
| Q5-15　使用方法（複数回答可）　※Q5-14で「使用している」と回答した企業（9社） |
| 電力会社の再エネ電力プラン：8社（88.9%）PPAもしくはリースで、敷地内発電電力を使用：0社（0%）PPAで、敷地外発電電力を使用：0社（0%）非化石証書を購入：1社（11.1%）グリーン電力証書を購入：0社（0%） |
| Q5-16　使用しない理由 （複数回答可）　※Q5-14で「使用する予定はない」と回答した企業（82社） |
| 料金が高いから：30社（36.6%）手続きが面倒だから：6社（7.2%）再エネ電力のことを知らない・わからない：38社（46.3%）その他：12社（14.6%） |
| Q5-17　水素ガス利用状況について |
| 利用している：0社（0%）今後の利用を検討している：6社（4.6%）利用しておらず、今後も利用の予定はない：113社（86.3%）無回答：12社（9.2%） |
| Q5-19　水素ガスに関連する次のうち、興味のあるもの（複数回答可） |
| 水素燃料の燃料電池車両（FCV）導入：43社（32.8%）水素ボイラーの導入：6社（4.6%）家庭用燃料電池（エネファーム）/産業用燃料電池：21社（16.0%）水素ステーションの導入：10社（7.6%）水素の製造（再生可能エネルギーや化石燃料からの製造）：4社（3.1%）興味のあるものはない：53社（40.5%）その他：2社（1.5%） |
| Q5-20　脱炭素化・地球温暖化対策に取り組む上で課題と感じる点（複数回答可） |
| 取り組むための専門知識やノウハウが不足している：59社（48.0%）どのレベルまで対応が必要か分からない：54社（43.9%）コストに見合う効果が見込めない：48社（39.0%）取組を推進する人材がいない：27社（22.0%）取り組む時間が確保できない・業務量の増加につながる：29社（23.6%）優先順位が低い：16社（13.0%）相談先が分からない：9社（7.3%）特に課題はない：6社（4.9%）その他：2社（1.6%） |
| Q5-21　脱炭素化・地球温暖化対策に向け、必要な公的支援（複数回答可） |
| 各種の情報提供：64社（75.4%）補助金（設備投資・研究開発等）：89社（54.2%）金融支援：33社（28.0%）新技術・新製品開発支援：11社（9.3%）新分野進出・業態転換支援：4社（3.4%）技術指導・相談：20社（16.9%）販路開拓支援：3社（2.5%）人材育成支援：11社（9.3%）企業間連携支援：8社（6.8%）産学官連携支援：8社（6.8%）その他：0社（0%）特になし：4社（3.4%） |